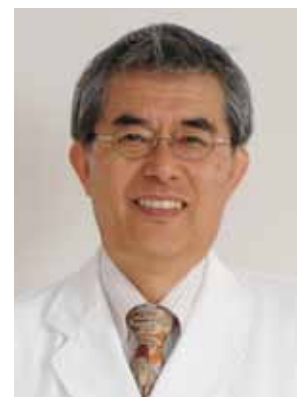




徳島大学病院は県下で唯一の特定機能病院であり、高度医療を提供することがその使命とされています。標準的治療は近隣の施設にまかせて、最先端の高度医療を行うことが特定機能病院に求められているのです。では医師が患者さんを目の前にした時に、この人には標準的治療を、この人には高度医療をやろうと考えているでしょうか。そんなことはないはずで、どこの病院に勤務しようかと、その病院でできる最善の治療をやりたいと考えるのが臨床医であるはずで、本当はもっと優れた治療があるのに、設備的が不足しているから、あるいはマンパワーが不足しているから無理だと感じた時、医師は大変悲しい思いをするものです。徳島大学病院ではその心配はないはずですが、少なくとも力量的に不足しているため高度医療ができないということのないように日夜努力しましょう。



病院長 安井 夏生



平成26年度の臨床研修が始まりました。

平成26年4月1日より、平成26年度の臨床研修が始まりました。本年度は1年次24名を新たに加え、2年次18名と合わせて全体で42名となり、研修医オリエンテーション(4月1日～4月9日:採血・点滴・BLS実習やコミュニケーション研修なども施行)、徳島大学病院新人研修医・看護師合同歓迎会(4月7日:徳島大学病院主催)、新人研修医の集い(4月13日:徳島県医師会主催)など一連の行事を終え、4月10日から研修を開始しました。

本年度から始まった「AWAすだちプログラム」においても、研修医一人一人の希望に沿った「オーダーメイド」のプログラムという従来の原則を守り、さらに改良を加えることで、各研修医が理想とする医師像に少しでも近づけるようサポートできる体制になっています。その一環として、本年度からは、新たに診療科や職種垣根を超えた横断的研修として、①脳卒中研修、②感染

研修、③リハビリ研修を開始し、今後求められる医療人としての基礎を学べるようになっていきます。

また、従来の研修医教育講座に加え、昨年好評であった各科中堅医師による「当直スキルアップセミナー」を充実させ、実臨床におけるピットフォールに関し集中的に学べる体制を構築しています。さらに本年4月から、国際的に通用する医師の育成を目標に、月に2回、外国人講師を招聘の上、日常会話に加え、診療に必要な医療英会話のレッスンを開始しました。

本年度から様々な試みが始まりましたが、何といたっても臨床の現場において経験を積むことが最も大切です。研修医達が良き医療人となるよう、皆様方には引き続き熱心な御指導を頂きますようよろしくお願い致します。

NEW

徳島大学病院の(新)横断的研修

①脳卒中研修(脳卒中センター)

24時間救急対応している脳卒中センターでは、右図の多職種連携によるチーム医療とスマートフォンを用いたi-stroke活用が特徴です。

②感染研修(感染制御部)

呼吸器・膠原病内科、血液内科、救急集中治療部、脳卒中センターでの研修中に定期的研修が組み込まれています。

③リハビリ研修(リハビリテーション部)

運動器疾患、脳卒中をはじめ、心臓・呼吸器疾患、がんなどを持つ患者さんのADL、QOLを向上させるために不可欠なリハビリを学ぶことができます。

脳卒中研修



平成27年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

| 2015年 [平成27年] | | | | | | | | | | | | 2016年 [平成28年] | | | | | | | | | | | | 2017年 [平成29年] | | |
|---------------|---|---|---|---|---|-----|----|----|--------------|------------|------------|---------------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---------------|--|--|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | | |
| 内科 | | | | | | 救急 | | | 選択必修 (※1) | 選択 (※2) | 地域 (※3) | 選択 | | | | | | | | | | | | | | |
| 6ヶ月 | | | | | | 3ヶ月 | | | 2ヶ月 | 1ヶ月 | 1ヶ月 | 11ヶ月 | | | | | | | | | | | | | | |

(※)到達目標の達成に必要な研修科を選択

平成27年度の卒後研修プログラム内容が決まりました。本年度より開始された「AWAすだちプログラム」と従来からの「産婦人科研修プログラム」、「小児科研修プログラム」の3つの中から選択できます。「AWAすだちプログラム」は、「徳島名産のすだちのようにいつまでも瑞々しく、どのシーンでも喜ばれ必要とされるような医師になって2年間の研修を終え『巣立ち』の時を迎えて欲しい」という願いが込められています。各プログラムの詳細は徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン1 AWAすだちプログラム

徳島大学病院と全国の協力病院における研修が可能なプログラムです。どの病院でどれだけの期間研修を行うかについても研修医の希望に沿って柔軟に対応することが可能です。後期研修・専門研修への架け橋としての役割も担っています。全国の協力病院の詳細に関しましては、徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご参照ください。

パターン2 産婦人科研修プログラム

将来、産婦人科医を目指す研修医を対象とした、産婦人科医療に関し、幅広く研修できるプログラムです。

パターン3 小児科研修プログラム

将来、小児科医を目指す研修医を対象に高度先進医療から一般小児科、小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について専門的なレベルの研修が行えるプログラムです。

全国に広がる
研修協力病院



徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

- 6月7日(土) 平成27年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会(徳島大学 大塚講堂)
- 7月6日(日) レジナビフェアin大阪(インテックス大阪)
- 7月20日(日) レジナビフェアin東京(東京ビッグサイト)

研修医紹介

1

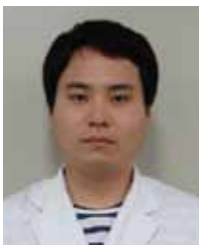
1年目研修医

阿河 弘和



何をしたらいいかわからず、先輩の先生方に迷惑ばかりかけているので、早く役に立てるようになりたいです。

稲垣 太造



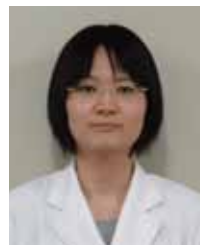
新社会人としての生活を楽しく生きたいと思っています。よろしくお願いします。

岩佐 あゆみ



何事にも全力で取り組みたいと思います。一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします。

岩坂 麻衣子



ご迷惑をおかけすることとは思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします。

榎本 紀哉



人との出逢いを大切に、充実した研修生活を過ごしたいです。

岡田 祐輝



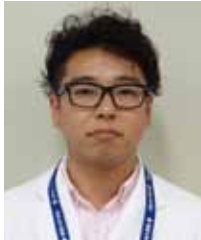
すべて吸収して成長できる様、一生懸命取り組みます。よろしくお願いします。

亀田 香奈子



子どもの頃からの夢だった医師になれてうれしいです。2年間の研修で基本的な知識や手技を習得したいと思います。

栗原 健士



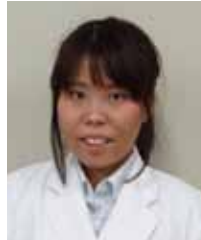
ご迷惑をかけることも多いと思いますが、日々研鑽をつみ少しでも役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

鈴木 智子



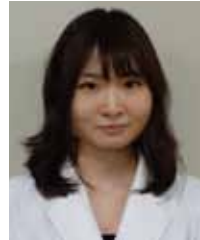
分からないことばかりで迷惑をおかけいたしますが、日々努力し、頑張っていきます。よろしくお願いします。

武井 美貴子



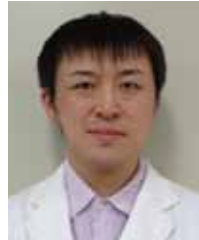
まだまだ未熟ですが、毎日一つずつでも成長できるよう努力していきます。ご指導よろしくお願いいたします。

富永 真由



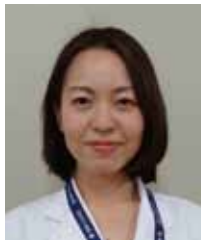
すべての経験に感謝し、感謝を勇気にかけて一歩一歩進んでいきたいです。よろしくお願いします。

野田 和克



一日一日を大切に、何事にも積極的に取り組んでいきます。よろしくお願いします。

板東 智子



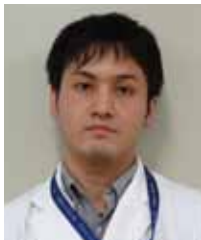
笑顔と誠実さを大切に、日々成長できるよう精進いたします。ご指導よろしくお願いいたします。

藤本 啓介



1日に1つでもできることが増えるようにがんばります。

松永 直樹



各科でしっかり研修し、様々な知識や手技、コメディカルの方々の仕事内容などを学びます。

松本 康平



大病院で基礎をしっかりと学びたいと思います。よろしくお願いします。

武藤 浩平



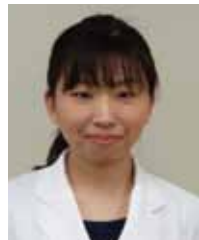
佐賀から来ました。わからないことだらけですが体力とフットワークでカバーしつつ勉強していきます。よろしくお願いします。

山下 雄也



自分の持っている精一杯の力を出していきます！徳大最高!!!

林 亜紀

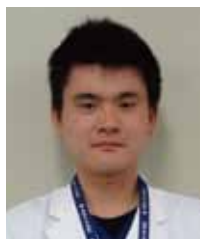


研修医1年目の林です。広島大学出身なので、慣れないことばかりですが、充実した研修を送れるよう頑張ります。

2

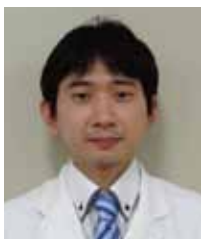
2年目研修医

雲財 崇



いよいよ2年目が始まりました。初心を忘れず、多くの患者さんに笑顔になってもらえるよう頑張ります。

中山 知彦



1年ぶりに大学へ戻り、多くの仲間と一緒に研修できて嬉しいです。日々成長できるよう精一杯頑張ります。

新井 悠太



研修も早いもので2年目になりました。本年度も素直で元気に少しずつ成長できたらと思っています。

山本 聖子



初心を忘れることなく一日一日を大切に、悔いのない研修を送りたいと思います。よろしくお願いします。

良元 俊昭



麻植協同病院での1年目の研修を終えて、大病院に帰ってきました。初心に戻って頑張ります。

猪子 未希



1年間研修を積み、できることも少しずつ増えてきましたが、常に謙虚な姿勢で成長し続けていきたいです。

先輩からのメッセージ

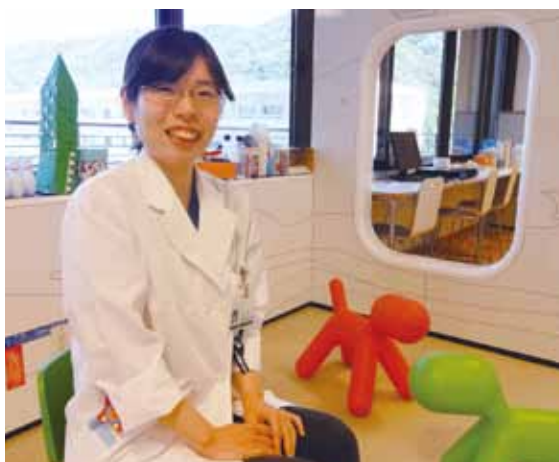
初期研修で学んだこと

徳島大学病院 小児科 松崎 苑美

(H24~H25年 徳島大学病院 小児科研修プログラムで研修)

もともと小児科志望であった私は徳島大学を卒業後、徳島大学病院の小児科研修プログラムで2年間の初期研修をおこなわせていただきました。

1年目は主に徳島大学病院で内科や小児科、徳島県立中央病院で救急科の研修をおこない、2年目は四国こどもとおとなの医療センターで小児科の研修をおこないました。このように複数の協力病院で研修をおこなえることは研修プログラムの特徴のひとつですが、病院を変えるたびに新たな環境に慣れる必要があり正直苦勞することもありました。ただ、それ以上にそれぞれの病院で充実した研修生活を送れたと感じています。特に小児科では小児のあらゆる疾患を扱うため疾患の種類は幅広く、病院によって診られる疾患は異なってきます。研修医のうちにいろいろな視点から診療にあたることはとてもいい経験になりました。それぞれの病院で多くの先生方やスタッフの方々にご指導いただき支えていただいたおかげだと思います。また同期や



先輩・後輩の研修医の先生にも恵まれ本当に助けられました。

現在、私は徳島大学病院で小児科医として働いています。まだまだ未熟で悩むことも多いですが、2年間で学んだことを活かしてこれから小児科医として成長していきたいと思っています。4月から研修を始められた先生方、2年間の初期研修は本当にあつという間です。悔いの残らないよう時間を惜しんで研修生活を楽しんでください。



▲英会話レッスン



▲卒後臨床研修センタースタッフ

本年4月より、新たに月に2回日常診療に役立つ英会話のレッスンを始めました。第1回は4月24日に開催されましたが、外国人講師相手に物おしせず積極的に会話をトライし充実した1時間を過ごしていました。

また平成26年4月1日より、佐田政隆センター長(循環器内科科長)、西京子副センター長(脳神経外科講師)、梶浦耕一郎センター専任教員(呼吸器外科助教)に加え、飛梅威教員(循環器内科助教)、田中久美子教員(消化器内科助教)がセンター専任教員として採用され、計5名のスタッフ体制となりました。研修医のこれからの長い医師人生に少しでも役立てるよう頑張りますので、今後とも徳島大学病院の卒後研修に御協力、御支援のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

新年度の研修がスタート。緊張している研修医の姿をみると昔の自分を思い出します。自分の経験も踏まえ、研修医の皆さんが満足できる研修を終えられるようしっかりとサポートしていきたいです。卒後臨床研修やニュースレターに関するお問い合わせなどございましたら気軽にご連絡ください。(T) bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

TOPICS

徳島大学藤井節郎記念医科学センター

徳島大学藤井節郎記念医科学センターは、UFTの発明、タンパク質分解酵素阻害剤ノイエル、FOY、フオイバン、フサンなどの発明と薬の開発などで知られる故藤井節郎徳島大学医学部薬理学部教授の業績を称え、一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会からの寄附を受け、「優秀な研究者を集め、学際・融合研究を推進し、医科学研究の発展及び若手研究者の育成に寄与すること」を目的として建築され、2013年11月18日に、徳島大学・蔵本キャンパス内に完成しました。



徳島大学病院

Tokushima University Hospital

徳島大学病院卒後臨床研修センター

Tel: 088-633-9359または9976 Fax: 088-633-9358

E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp